



＜火山問題＞川内原発仮処分決定の矛盾 規制委は「保安規定」の許可をするな！ 川内原発の再稼働中止を！

川内原発運転差止仮処分で、鹿児島地裁は川内原発の再稼働を容認する決定をくだしました。決定には火山審査にかかわる部分だけでも多くの事実誤認があります。また決定にある事実認定は、基準（火山ガイド）は不合理でないとの結論に矛盾し、川内原発の危険性を浮き彫りにするものです。原告は5月6日に福岡高裁に抗告しました。

◆火山ガイドは予測が可能であることが前提◆

▽火山ガイドの立地評価の原則は、「原子力発電所の運用期間中に火山活動が想定され、それによる設計対応不可能な火山事象が原子力発電所に影響を及ぼす可能性が十分小さいと評価できない場合には、原子力発電所の立地は不適と考えられる。」というものです。地震の場合は、過去12～13万年前以降に動いた可能性が否定できない断層が重要施設の直下にあれば、それで立地できないこととなりますが、火山の場合は、今後のことを抽象的に問うだけで、過去は問いません。それゆえ、川内原発のように、約3万年前の破局的噴火で火砕流が到達したことが明らか場所での立地に許可が下されようとしているのです。両者の違いは、地震が予測が不可能であることを前提とし、火山は予測が可能であることを前提としている点にあります。火山の場合、運用期間中の活動可能性が十分小さいと評価された場合でも、火山活動のモニタリングと兆候は把握時の対処方針を条件に付けているのはそのためです。

◆地裁決定の事実認定は火山ガイドの破たんを意味する◆

▽地裁決定は認定事実として、「原子力規制委員会及び原子力規制庁の認識としても、火山ガイドの策定時においては、破局的噴火の前兆現象を確実に把握でき、その把握から噴火に至るまでの期間が数十年程度あることを前提としていたことがうかがわれるところ、破局的噴火の前兆現象としてどのようなものがあるかという点や、前兆現象が噴火のどれくらい前から把握が可能であるかといった点については、火山学が破局的噴火をいまだ経験していないため、現時点において知見が確立しているとは言えない状況にある。」としています。これは火山ガイドの破たんを意味します。見直しを実施した場合、破局的噴火の予測ができないことを前提とし、過去に火砕流が到達した可能性が確認されれば、それをもって立地不適とすべきです。このような状況であるからこそ、火山学会は火山ガイドの見直しを要求しているのです。川内原発は当然廃炉となります。

◆原子力規制委は火山ガイドをねじ曲げて適用◆

▽原子力規制委員会は、火山ガイドを見直す代わりに、噴火の時期や規模を正確に予測できなくてもよい、噴火に際しては兆候があるはずで、兆候があれば空振り覚悟で対処

させればよい、その判断は規制委が責任を持つなど火山ガイドをねじ曲げて適用し、地裁決定も是認しました。しかし、矛盾はなんら解決されていません。そのことは、適合性審査において、火山活動のモニタリングの具体化、兆候と対処を講じるための判断基準の策定、核燃料搬出の方針の策定といった火山ガイドの要求事項が完全に宙に浮いてしまっていることに顕著に表れています。

◆火山ガイドの要求を社内規定文書に書いたことにする異常事態◆

▽これらについて九電は結局、原子炉設置許可変更申請書に具体的な中身を書き込むことができずに、保安規定の審査に先送りされ、ここにも書き込むことができず、社内規定文書に書き込むとされています。そして、九電は社内規定文書の内容を公開せず、規制委も公開を求めず、審査も何もせず許可を下そうという異常な状況となっています。原子力規制委員会が、川内原発の保安規定を認めないよう、監視を強めていきましょう。

＜集会＞南相馬の地点解除訴訟を応援する全国集会 in 東京

- ◆日時：5月9日（土）18：30～20：30
- ◆会場：文京区男女平等センター（地下鉄丸の内線：本郷三丁目駅）◆資料代 500 円
- ◆主催：南相馬の地点解除訴訟（20 ミリ基準撤回訴訟）支援の会準備会
（Hsink 避難・支援ネットかながわ、福島老朽原発の会、FoE Japan など）
- ◆問合せ先：FoE Japan 携帯：090-6142-1807 Tel：03-6909-5983 平日 Fax：03-6909-5986

＜政府交渉・緊急院内集会＞辺野古の海をこわすな！

- ◆日時：5月13日（水）9：30～12：30 ※9：15～ロビーにて入館証配布
＜集会＞9:30～10:30 ＜政府交渉（調整中）＞ 10:45～（相手方：防衛省・農水省）
★10:30～辺野古の新基地建設反対の国際署名を提出予定（調整中）
- ◆場所：参議院議員会館101（最寄駅：東京メトロ・永田町、国会議事堂前）
- ◆ゲスト▽北上田毅さん／沖縄平和市民連絡会他◆参加費：500円
- ◆主催：国際環境 NGO FoE Japan、美ら海にもやんばるにも基地はいらない市民の会
- ◆問合せ先：FoE Japan 携帯：090-6142-1807 Tel：03-6909-5983 平日 Fax：03-6909-5986

＜集会＞辺野古の海で今、生じていること

- ◆日時：5月13日（水）18：30～21：00（18：15開場）
- ◆場所：内海（貸会議室）JR 水道橋西口から徒歩3分◆資料代：500円（学生100円）
- ◆お話し▽北上田毅さん／沖縄平和市民連絡会他▽花輪伸一さん／ラムサール・ネットワーク日本▽堀田千栄子さん／辺野古ぶるー▽吉田滋さん／抗議船船長
- ◆主催：国際環境 NGO FoE Japan、美ら海にもやんばるにも基地はいらない市民の会
- ◆協力：辺野古リレー、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン
- ◆問合せ先：FoE Japan 携帯：090-6142-1807 Tel：03-6909-5983 平日 Fax：03-6909-5986

＜集会＞辺野古と戦争法を考えるつどい

- ◆日時：5月17日（日）13：30～16：30（13：15開場）
- ◆場所：内海（貸会議室）JR 水道橋西口から徒歩3分◆資料代：500円（学生100円）
- ◆お話し▽吉田正弘さん／リブインピース9+25
- ◆主催：美ら海にもやんばるにも基地はいらない市民の会／ピース・ニュース／辺野古リレー／辺野古ヘカヌーを贈る会／辺野古・高江プロジェクト
- ◆問合せ先：090-8116-7155（にもにも：阪上）090-7245-7761（ピース・ニュース：青木）